

善いことをすれば善い結果がある。悪いことをすれば結果も悪くなるということを感じている人は多いでしょう。ホントでしょうか？

この考え方は、人を導くために

はわかりやすくして良い方法
かもしれません。子供に対しても大人に対しても有効だと思えます。

でも、現実はどうでしょうか。残念ながら、悪いことをしてもよい結果が結ばれることもありますし、善いことをしても、悪い結果になることが人生にはあるのです。

良い結果の時には満足感がある

ので、原因が善で当然と考えます。悪でも結果がよいのでそれほど問題にはしないかもしれません。

では、結果が悪の時はどうでしょう。原因が悪なら「それこそ自業

「自業自得」は本当ですか？

自得だとあきらめるでしょう。問題

は、原因が善の時です。原因が善なのに結果が悪の時、私たちは到底受け入れることができません。なぜでしょう？原因が善なら結果

も善だと思い込んでいたからです。社会や周りの人からそう教えられていたのですから無理もありません。

「自業自得」は、今の行動が未来を決めるといって教えてです。これは、未来へ向かって生きるためには今できることを精一杯やりましょうという考え方です。善いことをすれば、良い結果があるという考え方は全くないのです。

原因と結果を私たちが勝手に結び付けているにすぎないのです。

